

# 4月 ひなぎくだより



お家の人に「いってきます」をして、初めての幼稚園生活が始まりました ✨ 慣れない先生と慣れないお部屋に少し緊張しながらも、それぞれのペースで、お砂遊び滑り台、ボール遊びを楽しみました。お父さん、お母さんから離れて初めて経験する社会です。それぞれに、戸惑いや不安があると思います。『おりこう』でいないといけない、そんな思いもあるかもしれません。泣いてもいいし、お利口でなくてもいい、どんな姿でも神さまは受け止めてくださることを伝え続けたいと思います。生涯の生きていく土台となる大切な時期に、千鳥幼稚園でたくさんの方が経験できますように。



お友だちと一緒に滑り台を滑りたいAちゃん。目を合わせて、指をさしてBくん何とか伝えようとします。Bくんも理解したようで、Aちゃんの後ろに座り滑り台を楽しんでいました。言葉は交わさなくても、心を通じ合わせて遊ぶ姿にほっこりしたエピソードでした。



『大人は、子どもが社会で生きていくために、危険な枝や人の迷惑になる枝を剪定することはしないといけません、画一的な形に剪定しないように気を付けたいものです。子どもを信じ、未来を信じ、今、一生懸命伸びようとしている、一人ひとりの興味関心の枝を大切に伸ばしてあげたいと思います。』(岩城敏之「主体性を育む保育」より引用)

それぞれに、得意なこと、苦手なこと、その子だから感じられること、その子でないと気が付かないことがあります。それぞれに与えられた個性を大切に過ごしていきたいです。そして、子ども自身が『そんな自分が好きだ』と思えるようになってくれることを願っています。

机を囲んで、ラムネ(塩分チャージタブレット)を食べてほっと一息。「おいしいね」「今日はいいお天気だね」何気ない会話ですが、みんなで顔を合わせて、同じ時間を共有する嬉しさを感じられたらいいなと思っています。